

59-7041

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月25日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県豊田市高丘新町天王1番地

住所 株式会社アイシン 新豊工場

氏名 工場長 和田 英之

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-54-8611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、
2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場		
事業場の所在地	愛知県豊田市高丘新町天王1番地		
事業の種類	31輸送用機械器具製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1315.75 t	全処理委託量	696.75 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	626.75 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	651.65 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	600.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	40.50 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(泥状のもの))

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
74.7305

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
74.7305

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
74.7305

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
74.7305

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	74.7305
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	74.7305
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.7305
⑫再生利用業者への処理委託量	74.7305
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
283.618

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
283.618

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
283.618

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
249.46

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
34.158

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	283.618
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	283.618
⑪優良認定処理業者への処理委託量	283.618
⑫再生利用業者への処理委託量	249.46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	34.158
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①

4.9

自ら直接
再生利用した量

②

0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

4.9

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

4.9

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

4.9

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0

項目	実績値
①排出量	4.9
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	4.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.9
⑫再生利用業者への処理委託量	4.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
671.088

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
47.888

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	671.088
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	623.2
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	47.888
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47.888
⑫再生利用業者への処理委託量	47.888
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量

④
656

自ら中間処理した後の残さ量

⑥
32.8

④のうち熱回収を行った量

⑤
0

自ら中間処理により減量した量

⑦
623.2

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

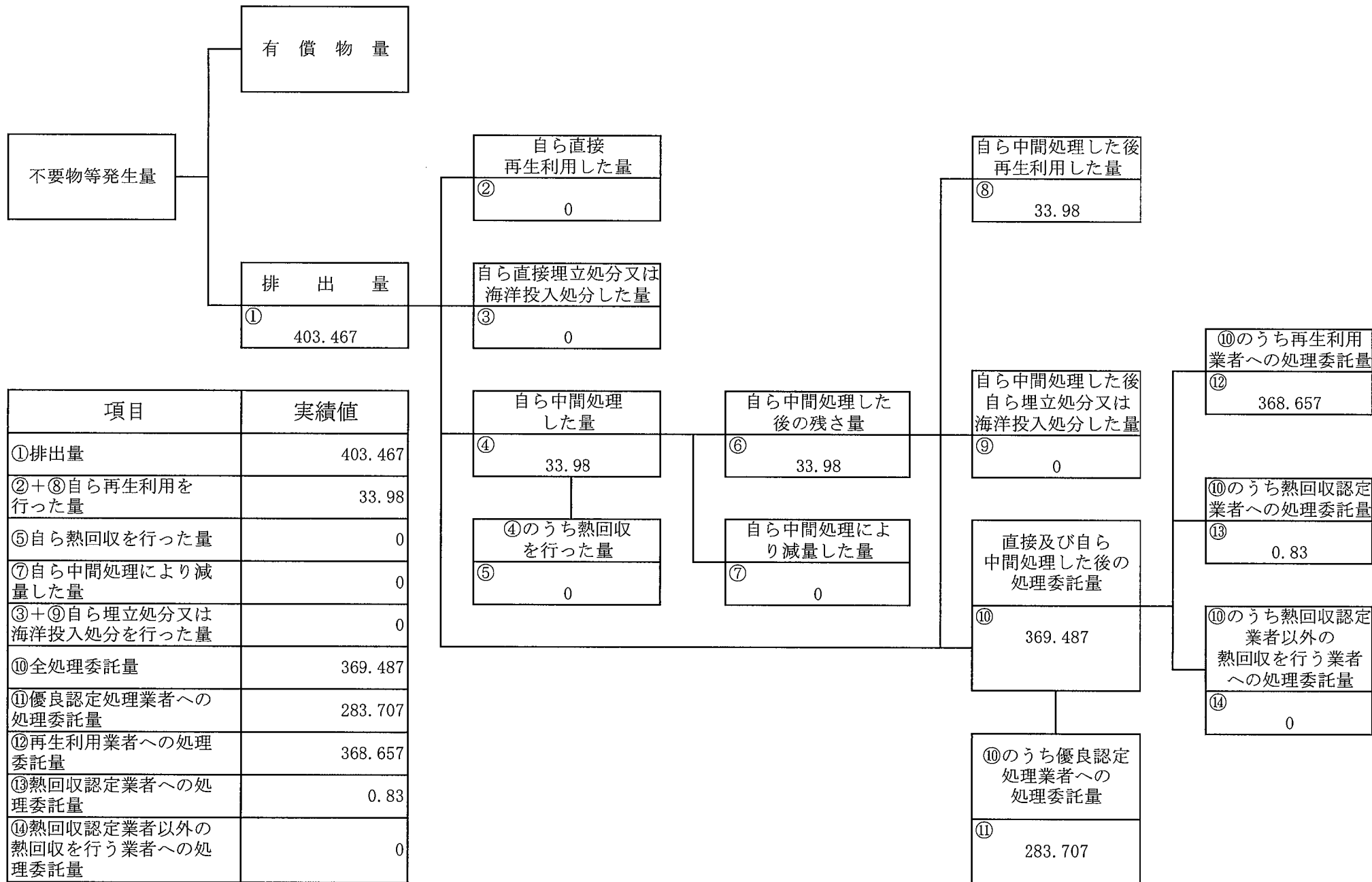
⑩
47.888

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
47.888

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
9.08

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
9.08

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
9.08

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
9.08

項目	実績値
①排出量	9.08
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	9.08
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.08
⑫再生利用業者への処理委託量	9.08
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
22.08

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
20.92

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
1.16

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

自ら中間処理
した量

④
20.92

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
20.92

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
1.16

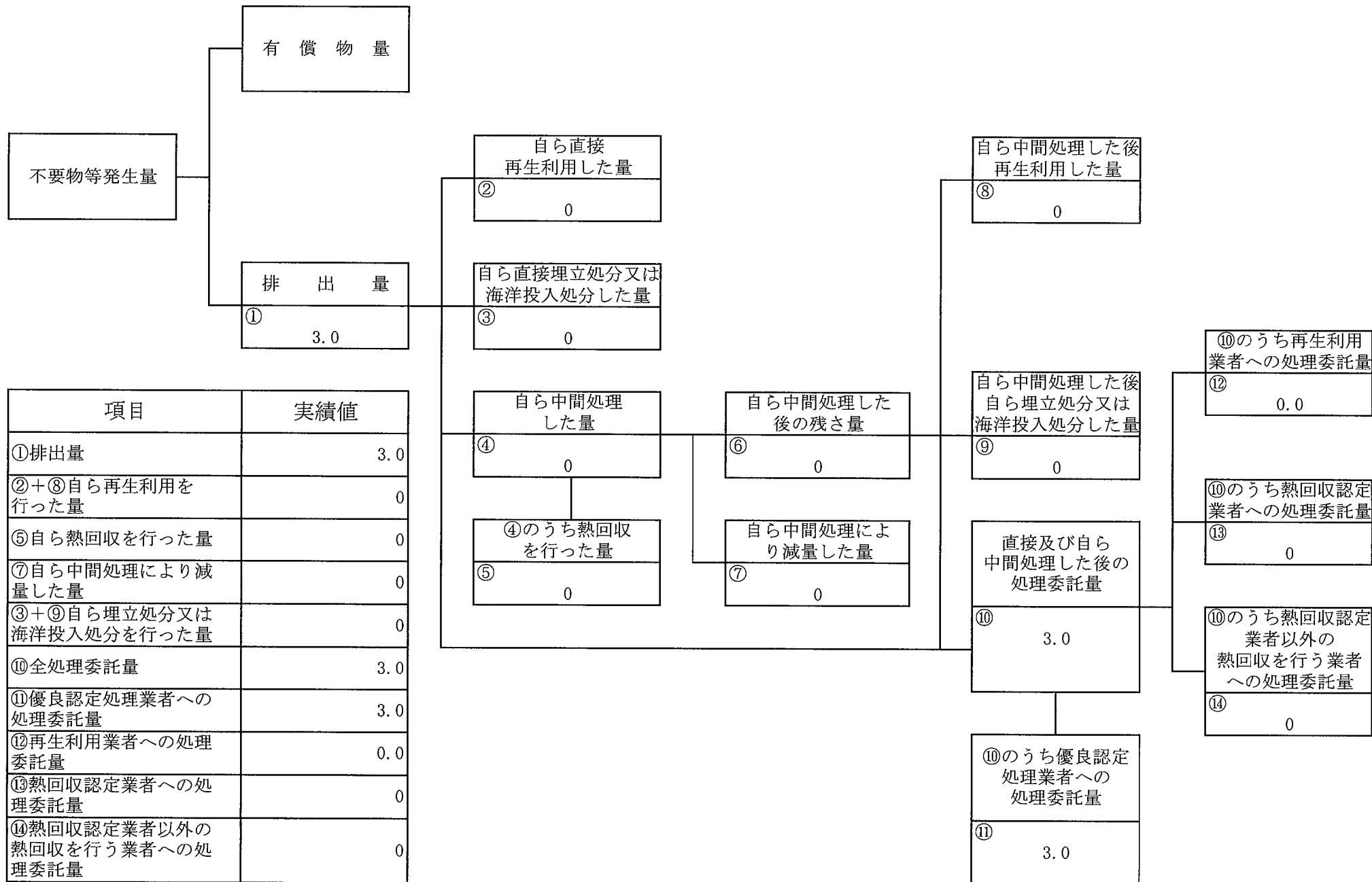
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
1.16

項目	実績値
①排出量	22.08
②+⑧自ら再生利用を行った量	20.92
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.16
⑫再生利用業者への処理委託量	1.16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物))

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.51

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.51

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.51

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

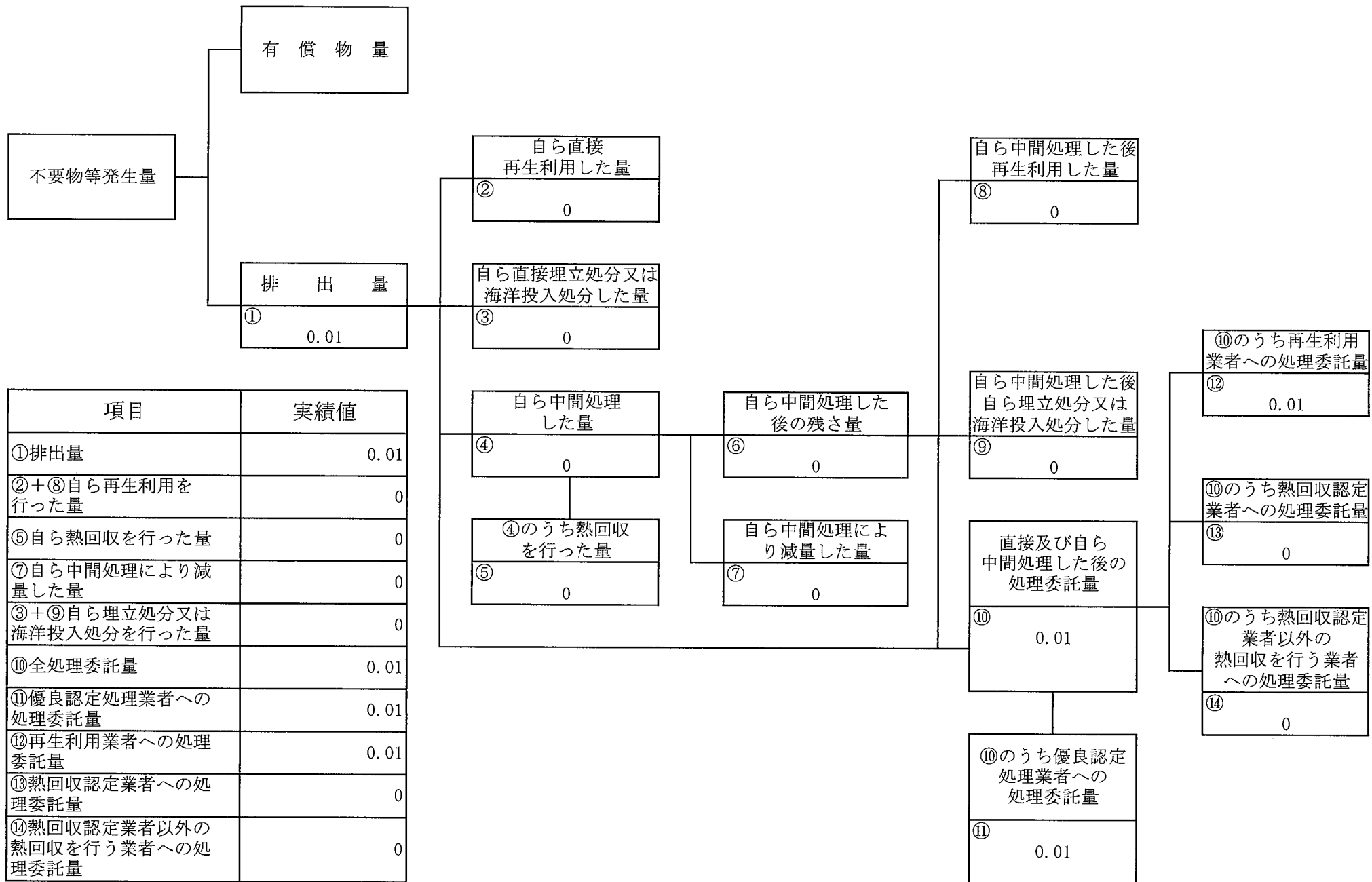
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	0.51
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.51
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.51
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (水銀製品) 蛍光灯)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.03

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.03

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.03

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.03

項目	実績値
①排出量	0.03
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.03
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.03
⑫再生利用業者への処理委託量	0.03
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (水銀製品) 照明機器)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.02

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.02

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.02

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.02

項目	実績値
①排出量	0.02
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.02
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (水銀製品) 電池類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.15

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.15

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.15

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.15

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	0.15
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1 / 5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1634 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥 (泥状のもの)	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
		研磨粉 排水処理汚泥・他	廃油・廃グリス他	電着塗料廃液・他	洗浄廃液・他	樹脂製品 ウエス・手袋他
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	74.7305	283.618	4.900	671.088	403.467
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	74.7305	283.618	4.900	671.088	403.467
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	656.000	33.980
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (濃縮)	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	623.200	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	32.800	33.980
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	33.980
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0000	0.000	0.000	32.800	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	74.7305	283.618	4.900	15.088	369.487
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	74.7305	283.618	4.900	47.888	369.487
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	74.7305	283.618	4.900	47.888	369.487
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (濃縮)	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	66.2665	182.126	4.655	34.014	207.211
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	8.4640	99.784	0.245	13.874	173.140
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	1.708	0.000	0.000	0.042
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	8.46400	99.784	0.245	13.874	207.120
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	66.2665	182.126	4.655	657.214	207.211
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	1.708	0.000	0.000	0.042

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2 / 5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1634(人)	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類(工場の新築、改修又は除去に伴って生じた不燃物)	管理型 混合廃棄物
		梱包資材・他	廃配線・機械くず	廃磁石・断熱材・建材等	コンクリート・石	CRTディスプレイ
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	9.080	22.080	3.000	0.510	0.010
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	9.080	22.080	3.000	0.510	0.010
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	20.920	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	20.920	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	20.920	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	9.080	1.160	3.000	0.510	0.010
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	9.080	1.160	3.000	0.510	0.010
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	3.000	0.510	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	9.080	1.160	0.000	0.000	0.010
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	9.080	1.160	0.000	0.000	0.004
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.006
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	9.080	22.080	0.000	0.000	0.004
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	3.000	0.510	0.006

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3 / 5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1634 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	(水銀製品) 蛍光灯	(水銀製品) 照明機器	(水銀製品) 電池類	汚泥 (基準値を超える有害 物質を含むもの)	引火性廃油
		蛍光灯	照明機器	電池類	廃活性炭	廃溶剤・廃塗料
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.030	0.020	0.150	1.450	0.510
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	0.030	0.020	0.150	1.450	0.510
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0.030	0.020	0.150	1.450	0.510
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0.030	0.020	0.150	1.450	0.510
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.030	0.020	0.150	1.450	0.510
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.006	0.004	0.060	1.378	0.485
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.024	0.016	0.090	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.073	0.026
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.024	0.016	0.090	0.000	0.000
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.006	0.004	0.060	1.378	0.485
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.073	0.026

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4 / 5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数 (人)	1634 (人)	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		pH2.0以下の廃酸	pH2.0以下の廃酸 (基準値を超える有害物質を含むもの)	pH12.5以上の廃アルカリ	pH12.5以上の廃アルカリ (基準値を超える有害物質を含むもの)	感染性廃棄物
項目		洗浄廃液	除錆剤	型洗浄液	脱脂廃液	医療廃棄物
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	20.280	0.500	0.710	38.310	0.0075
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	20.280	0.500	0.710	38.310	0.0075
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	o 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	20.280	0.500	0.710	38.310	0.0075
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	20.280	0.500	0.710	38.310	0.0075
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	20.280	0.5000	0.710	38.310	0.0075
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	19.266	0.4750	0.675	36.395	0.007125
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	1.014	0.025	0.036	1.916	0.00000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000375
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	1.014	0.0250	0.036	1.916	0.000
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	19.266	0.4750	0.675	36.395	0.007125
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000375

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料 D:建設材料 E:その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 5 / 5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数(人)	1634(人)	前年度の3月31日現在の従業者数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		紙くず	廃プラスチック類	廃ガラス及び 金属の混合品	金属くず	金属くず
項目		段ボール・ザッシ等	樹脂製品・空箱	自動車部品等	型・機械くず等	鋼板加工屑等
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	60.185	187.750	414.080	423.987	19,672.041
	b 有償物量(t/年)	60.185	187.750	414.080	423.987	19,672.041
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(まとめ)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社アイシン 新豊工場	従業員数(人)	1634(人)	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	工場管理室 安全・管理グループ 角丸 豊	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 090-8050-4951 (FAX) 0565-54-8730 (E-mail) y-kaku@sintoyo.aisin.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	18,815,798	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		項目					合計
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (— 年 度 実 績 —)	a 不要物等発生量(t/年)						22,292.4940
	b 有償物量(t/年)						20,758.0430
	① 排出量(t/年) (①=a-b)						1,534.4510
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)						0.0000
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)						0.0000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)						710.9000
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)						623.2000
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)						87.7000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)						54.9000
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)						0.0000
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)						32.8000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)						823.5510
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)						856.3510
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)						3.5100
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)						852.8410
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)						553.02148
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)						308.8716
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)						1.854
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)						363.7716
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)						1,176.221475
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)						5.363775

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。